

令和6年香美市議会定例会4月臨時会議提出議案 市長提案説明

本日、議員の皆さまのご出席をいただき、令和6年香美市議会定例会4月臨時会議が開かれますことに、厚く御礼申し上げます。

議案の説明に先立ち、最近の香美市の取り組みを例に挙げながら、私の政治姿勢や市政運営についての考え方をご説明をさせていただきます。

先月27日から今月2日までの日程で、アメリカの姉妹都市でありますフロリダ州ラーゴ市より、ウッディ・ブラウン市長をはじめ、総勢20名の皆さんが香美市にお越しくださいました。

今年は、姉妹都市締結55周年の年であり、末永い交流を願った記念植樹や、歓迎パーティーを開催し、香美市を挙げておもてなしさせていただきました。ラーゴ市のみなさんの滞在先は、ホームステイということで、香美市国際交流協会のメンバーにご協力いただき、一般家庭を知って頂くなど、文化交流も行うことができました。加えてラーゴ高校と山田高校は姉妹校であり、交換留学生の交流も続いています。

香美市としまして、末永くラーゴ市との交流を継続していけるよう、私としましても努力致します。

次に、市役所の職員体制についてです。

昨年度も採用試験を3回行い、昨年10月1日付で2名、4月1日付で16名の計18名が、昨年4月以降、新たな香美市職員として加わりました。正規職員403名のうち、4分の1程度の職員が、市職員として5年未満の経験年数という体制となっています。若い職員が増えておりますが、それぞれの職場で期待以上に頑張ってくれており、また能登半島地震の被災地支援に意欲的に参加してくれるなど、頼もしく思っている所です。今後とも、それぞれの職員が目標を持ち、スキルアップに努め、市民の期待に応えられるよう、職員一同努力してまいります。

次に、予算に計上しております事業についてご説明いたします。

まず、ふるさとづくり基金費82万2千円余、施設等整備基金費37万7千円余は、香美市の持つ基金を運用して得たお金です。人口減により、財政的にも厳しくなっていくことが予想されますので、今後も安全性を最重要としながらも、できるだけ有利に運用して、歳入を増やすべく、情報収集につとめてまいります。

次に、香美市 PR 映像制作等委託業務です。

この予算は、朝ドラ「あんぱん」を契機に、香美市を知った方々に対して、やなせたかし先生ゆかりの地や人柄を紹介する動画や、観光スポットやイベント紹介の動画を市民と共に製作し、観光客の周遊と満足度向上を目指すものです。

香美市の HP リニューアルと合わせ、多くの方に魅力的な香美市の動画を見て頂ける努力もし、移住者数の増加や、ふるさと納税の税収アップなどにもつなげてまいります。

次に、JR バス美良布駅の改修についてです。

アンパンマンミュージアムの最寄りバス停である美良布駅には、多くのファミリー層が訪れますが、老朽化が著しい現状となっております。そこでやなせキャラを使った歓迎ボードの設置や、内装壁の塗り替え。そしてトイレの扉を、子供さんや女性でも容易に開閉できるように、改修を行います。JR バスを利用する観光客を増やすことで、自家用車の台数を減らすことができますので、この改修を渋滞対策にもつなげてまいります。

次に、外国籍の子供たちの学びを支援する予算についてです。

今年度、小学校 1 年生として、2 人の外国籍の児童を迎えることになりました。この子供たちは、日本語の習得がまだまだで、意思疎通が難しい現状があります。そこで日本語指導教員 2 名を新たに配置し、新 3 年生となる 1 名を含めた、3 名の児童の学習をサポートするべく予算を計上させて頂きました。今後も、外国籍の児童生徒についても、しっかりと学びを保証し、安心して学校生活を送れるよう、取り組んでまいります。